

しいのす
たんぽぽ
みす

クラスだより

えんまちまぶねりんぱん

2024.8.28

しいの実ぐみ

家庭保育ナット日や、体調不良等で欠席もあり、2名がそろって出席できた日が少なかったですが、登園時には保育者に笑顔で手をのばしていました。

暑い日は、プール遊びや様々な感触遊びなど、夏ならではの遊びを経験し、楽しく過ごしました。

また、名前を呼ぶとにっこり笑顔を見せたり、少しずつ声が生えてたり、指差しや囁語が見られたりします。四つ這いから何もしない所で立つという姿や、2~3歩ほどの歩くことから歩ける距離が長くなるなど、色々な面での成長を見ることができました。

感触遊び

色水遊びやボディペインティング、泥に、泡遊びなど、他クラスとの交流を通して、様々な感触遊びを経験しました。感触遊びを通して、物を触るだけではなく、見た目や匂い、遊びによっては音などの感覚も一緒に育んでいきます。水の色が変わった様子をじっと見たり、手でバシャバシャと積極的に触ったりしていました。

ボディペインティングや泡遊びでは、身体に色や泡が入ってかうな様子でした。泥に遊びでは、砂と水を保育者がまぜていると手で触ったり握ったり、感触を楽しめ、スコップで砂をくたり、子ども同士で砂の受け渡しをするなど楽しい姿も見られました。

9月はじめから好きな遊びを準備し、身体を動かして元気に樂しく過ごしていくことを思っています。

外に出れば、まだ汗ばむ日々が続いていますが、少しずつ秋の訪れを感じる季節となりました。ナットも終わりましたが、引き続き熱中症対策をしながら、子どもたちと元気に秋ならではの活動を楽しんでいきたいと思います。

たんぽぽぐみ

7月から始まり、たんぽぽや水あそびを2ヶ月くらい楽しめていたことで、7月初めの頃は表情の硬さが、たゞどもたちも「かしこ」に涙することもなく、沢山身体を動かして「笑顔で」あそぶことができるようになってきました。そして夏ならではのボディペイントや寒天あそびといった感覚あそびもやってみました。タダ

感覚あそび～ボディペイント～

えのくの感覚が「苦手な子どももたくさんから角虫うどん」と言ふこともあります。恐る恐る手を伸ばしてみたり、他のお友だちに身体に塗られ、その感覚にビックリしてしまう子どももいました。ねと、とした感覚が身体に角虫れる経験はあまりないのですが「苦手な言葉がみても不思議ではないか」と思います。でも、その上、と苦手だな…や兼たな…といった感覚も水を含ませ、サラッと流してみたり、えのくだけとは違う感覚にたり、視界に色のついた水が出てきたりして「アッ！」と発見して面白さが芽生え、笑顔になれる子どももいました。

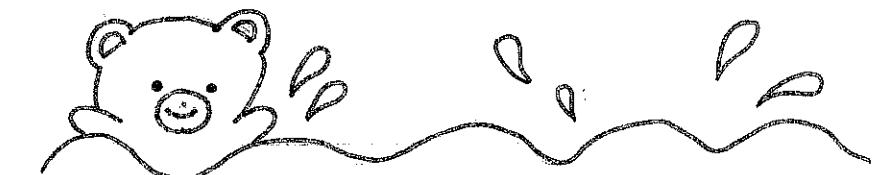
～寒天あそび～

ボディペイントとは逆に、土鬼なら触れる!!でも「ちやにつけられると苦手…」とこれも変化する素材には子どもたちの「変化」を見られました。泡遊びや泥にあそびなど、まだ暑い時期にしかできない感覚あそびをすることで、変化する素材で「も身体も変化させ色々な発見をしてイメージをふくらませる力をたらせていました」と思っています。

みづぐみ

①感覚あそび

8月はまず組さんが大好きなナットにたくさん入りました。毎日「ぎゅう、ナット？」と嬉しそうに保育者に聞く子どもたち。回数を重ねながら、自分たちで服を脱ぎ、ナット用パシルを履くなど、流れを覚えて進んで準備をする事がありました。また泥んこ泥んこ遊びもはじめ、寒天や色水、泡水やボディペイントなど感覚あそびをしました。色の変化や感覚も楽しむと同時に「よじれたくなはないはある」といった気持ちをもつ、子どもの姿がありました。その中で活けないようになんたり、お友だちの楽しそうな姿を見て思いいきって遊んでみたりと自分で考えながら楽しむ姿が見られ、成長を感じました。



②ルートのあるあそびをしたよ

まずは組になって椅子取りゲームをはじくさんなど、ルートのある遊びを取り入れています。椅子取りゲームでは人数分の椅子を用意し音楽が止まると座るところから始めました。「さ、このウナガいいー」とみんなで歌を決めてから、保育者の導きを見て「いいいい」で音楽に合わせたり、「きてない!」「すみていいの」など音楽が止まることにしきりに反応して座り、「すみれぬー」とお友だち同士で確認したり、爪としらう微笑ましい声がきました。最後には床のルート通り椅子を減らすと集中する姿、悔しい涙がたり、泣きのを我慢して「もうやい、する!」といったルートを理解する事が見られました。簡単なルートのある遊びを取り入れ、お友だちと一緒に遊び樂しまや、ルートを守る大切さを感じたいのか出来たらいいなと思っています。

